学習指導案形式例【R８ 生活科】
（群馬県教育委員会）

【単元の目標】
・学習指導要領で示された内容を基に、**単元を通して育成を目指す資質・能力**を記述する。
・幼児期までの学びの特性を踏まえ、育成を目指す三つの資質・能力を截然と分けることができないことから、単元の目標の作成に当たっては、育成する資質・能力を総括的に示すようにする。

【評価規準】
・「**『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）**を参考にし、作成をする。その際、資料の「内容のまとまりごとの評価規準」をそのまま使用できない場合もあるため、実施する単元の内容と照らし合わせ、各観点の評価規準を吟味する。

【指導の計画】
・**（単元の目標の達成につながる）「単元の課題」を解決するために必要な学習活動を明確に**し、単位時間ごとに一文で簡潔に記述する。
・「であう」「はたらきかける」「ふりかえる」過程の区切りは実線、その中を細分化する場合は点線とする。
※別紙として示す場合は、資料として添付し、３タイトル横に「※別紙参照」と示す。

【学習対象の価値】
・指導者の意図に基づき設定される学習対象について、児童の資質・能力の育成とのつながりから、その魅力や必要性等を、簡潔に記述する。
※「生活科学習指導案例」、
「各教科等授業改善プロジェクト学習指導案」参照

生 活 科 学 習 指 導 案

単元名「○○○○○○○○○○○○○○」〔学指要領：例（　）〕

令和○年○月○日（○）　第○校時　○○○○教室
○○立○○○学校　○年○組　○名　指導者　○○　○○

Ⅰ　単元の構想
1　単元の目標及び児童の実態

目　標	児童の実態
	・ ・ ・

2　評価規準

知識・技能	① ②
思考・判断・表現	① ②
主体的に学習に取り組む態度	① ②

＜文末例＞
知・技、思・判・表「～**している**。」
主体態「～**しようとしている**。」

3　指導及び評価の計画（全○時間：本時第○時）　※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動		知	思	態
1	・～～～

【ねらい】
・「**中心的な学習活動＋本時に育成を目指す資質・能力**」とし、**教師の立場**で、具体的かつ簡潔に記述する。
・どの単位時間でも同じ記述にならないように、単元における本時の位置付けを明確にする。
・参観者が、「ねらい」を見ただけで、授業の主たる学習活動や目標をイメージできるように記述する。
（授業参観の視点となる）

【めあて】
・「ねらい」を達成するために「**何を**」「**どのように**」**学ぶのか**など、学習の見通しを明確に意識できる**児童向け**の言葉を記述する。※「はばプラⅡ」参照

【主な学習活動】
・番号を付け、**児童の立場**で、具体的かつ簡潔に記述し、時間は大まかに（○分）で示す。
・「導入」「展開」「終末」の区切りは実線とする。

【予想される児童の意識】
・**一人の児童の意識を想定し**、本時の「**ねらい**」**の達成に向かって、意識が変容していく様子**を記述する。

【振り返り】
・本時の学習を振り返り、学習対象について気付いたことや活動の進捗状況、次時に取り組みたいこと等を具体的に想定して記述する。

Ⅱ　本時の学習（●／●）

1　ねらい　～～～